

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【公開番号】特開2005-116041(P2005-116041A)

【公開日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-347766(P2003-347766)

【国際特許分類】

G 11 B 7/24 (2006.01)

G 11 B 7/243 (2006.01)

G 11 B 7/244 (2006.01)

G 02 F 1/15 (2006.01)

G 11 B 7/0045 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/24 501A

G 11 B 7/24 511

G 11 B 7/24 516

G 11 B 7/24 522A

G 11 B 7/24 522E

G 11 B 7/24 522P

G 02 F 1/15 506

G 02 F 1/15 507

G 11 B 7/0045 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電圧印加によって着色される導電性高分子層と、
導電性高分子層へ電圧を印加して着色させるための電極層と、
電解質層とを有し、

前記電解質層は、光エネルギー照射により化学反応する化合物を含有し、前記化合物が化学反応した領域の導電性は、化学反応した領域以外の領域の導電性と異なることを特徴とする情報記録媒体。

【請求項2】

前記光エネルギー照射による化学反応が熱分解であることを特徴とする請求項1記載の情報記録媒体。

【請求項3】

前記光エネルギー照射による化学反応が架橋反応であることを特徴とする請求項1記載の情報記録媒体。

【請求項4】

前記情報層は、ポーラロン状態またはバイポーラロン状態となることによって光吸収率が変化することを特徴とする請求項1記載の情報記録媒体。

【請求項5】

前記情報層、前記電極層、前記電解質層のセットが、複数あることを特徴とする請求項1記載の情報記録媒体。

【請求項6】

前記電極層は、1対の電極層であり、

前記1対の電極層は、前記情報層及び前記電解質層を挟むように構成されていることを特徴とする請求項1記載の情報記録媒体。

【請求項7】

前記1対の電極層、前記情報層及び前記電解質層のセットが、複数あることを特徴とする請求項6記載の情報記録媒体。

【請求項8】

電圧印加によって着色される導電性高分子層と、

導電性高分子層へ電圧を印加して着色させるための電極層と、

熱分解性または熱架橋性の少なくとも一方を含む電解質層とを有する情報記録媒体を用い、

前記電極層に電圧を印加して、

その後、前記媒体に光を照射して、情報を記録することを特徴とする情報記録方法。

【請求項9】

前記光照射された領域の光透過率は、光照射されていない領域と比較して、高い状態に保たれるよう変化することによって情報の記録が行われることを特徴とする請求項8記載の情報記録方法。

【請求項10】

前記情報記録媒体は、前記情報層と前記電極層と前記電解質層のセットを複数有し、

前記記録の際は、前記複数のセットのうちの所定のセットの電極層に電圧を印加した後、光を照射することを特徴とする請求項8記載の情報記録方法。

【請求項11】

前記電圧は、間歇的に印加されることを特徴とする請求項8記載の情報記録方法。